

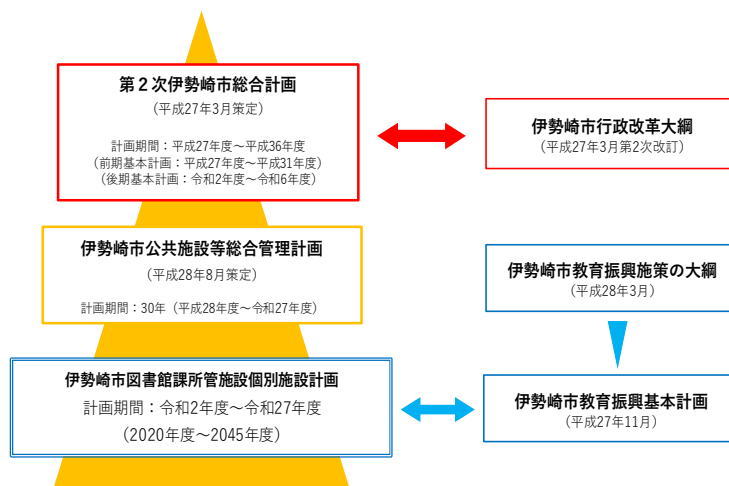
伊勢崎市図書館課所管施設個別施設計画 概要版

令和2年2月

◇図書館課所管施設個別施設計画の背景と目的

図書館課所管施設個別施設計画は、公共施設等総合管理計画にもとづき、利用者の利用環境の維持・向上を第一に考え、図書館施設を総合的に捉え、中長期的な維持管理や改修等に係る更新コストの縮減、図書館施設環境の質的改善も考慮しながら適正に改修等を実施することを目的として策定し、読書活動の充実を図り、年代を問わずに一人ひとりが、自らの知性と感性を育てることを支援する環境の実現を目指します。

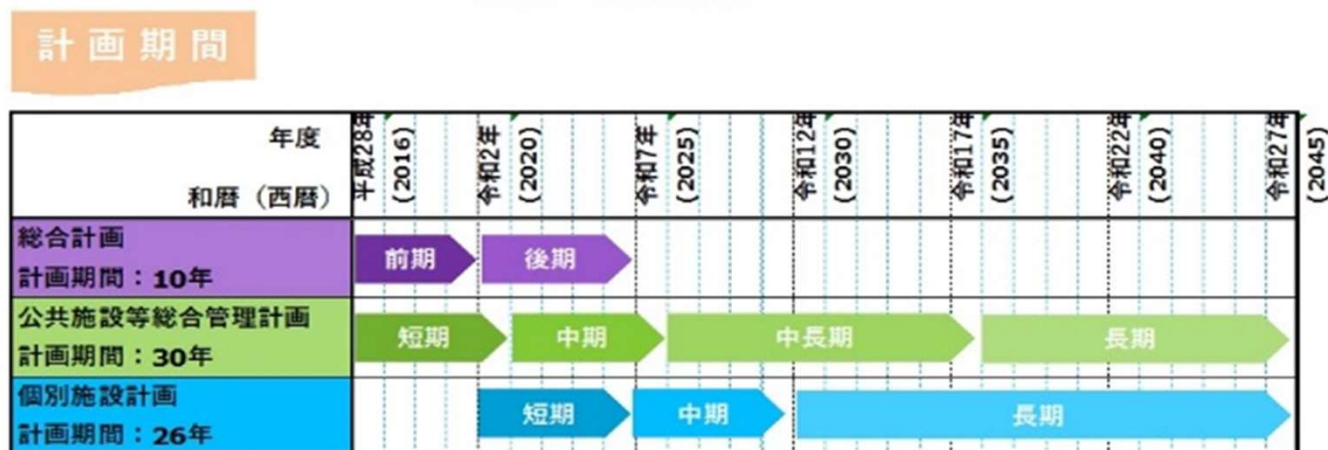
伊勢崎市図書館課所管施設個別施設計画の位置づけ



◇計画期間

計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和27年度（2045年度）までの26年間とします。

3 計画期間



◇計画対象施設

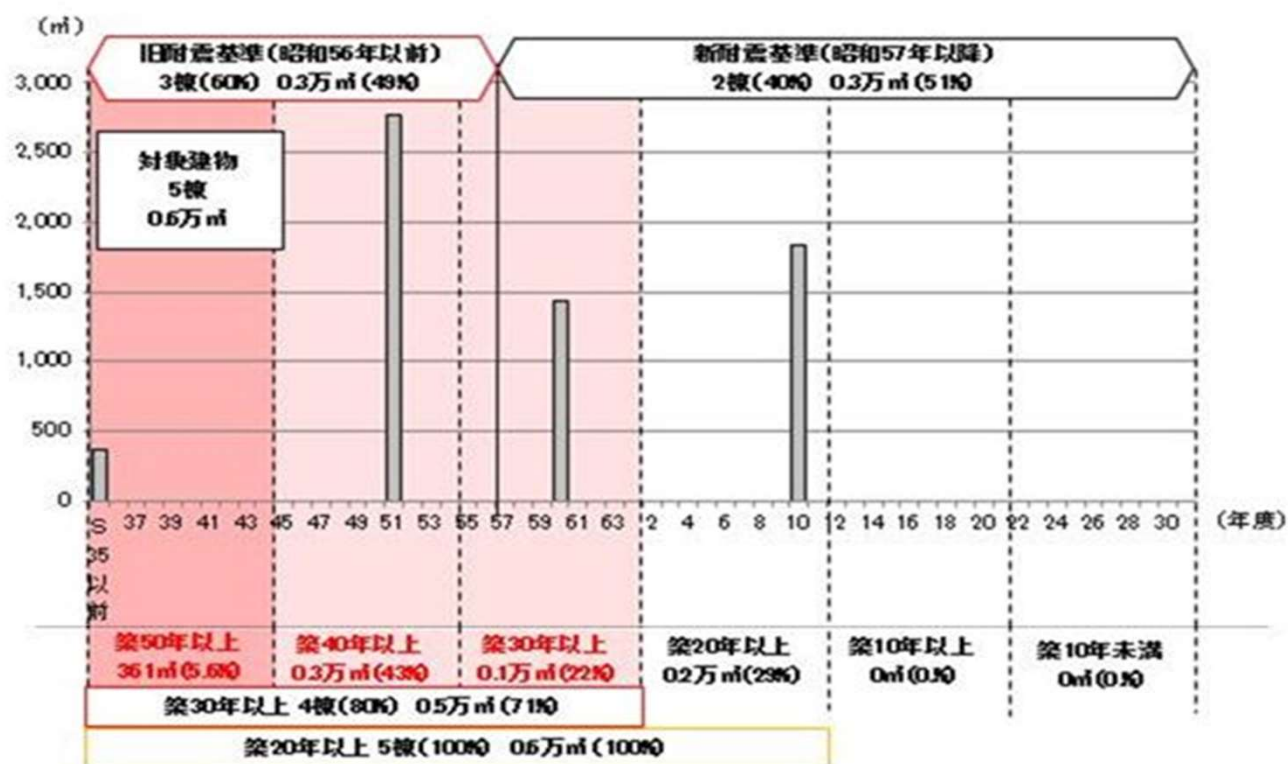
伊勢崎市図書館条例により設置が定められている伊勢崎市図書館、あずま図書館、境図書館の3施設4棟、伊勢崎市境絹の館条例により設置が定められている境絹の館1施設を計画の対象とします。

赤堀芸術文化プラザ内に設置されている赤堀図書館については、赤堀芸術文化プラザの整備に合わせて実施されることとするため、本計画の対象からは除いています。

◇施設の状況

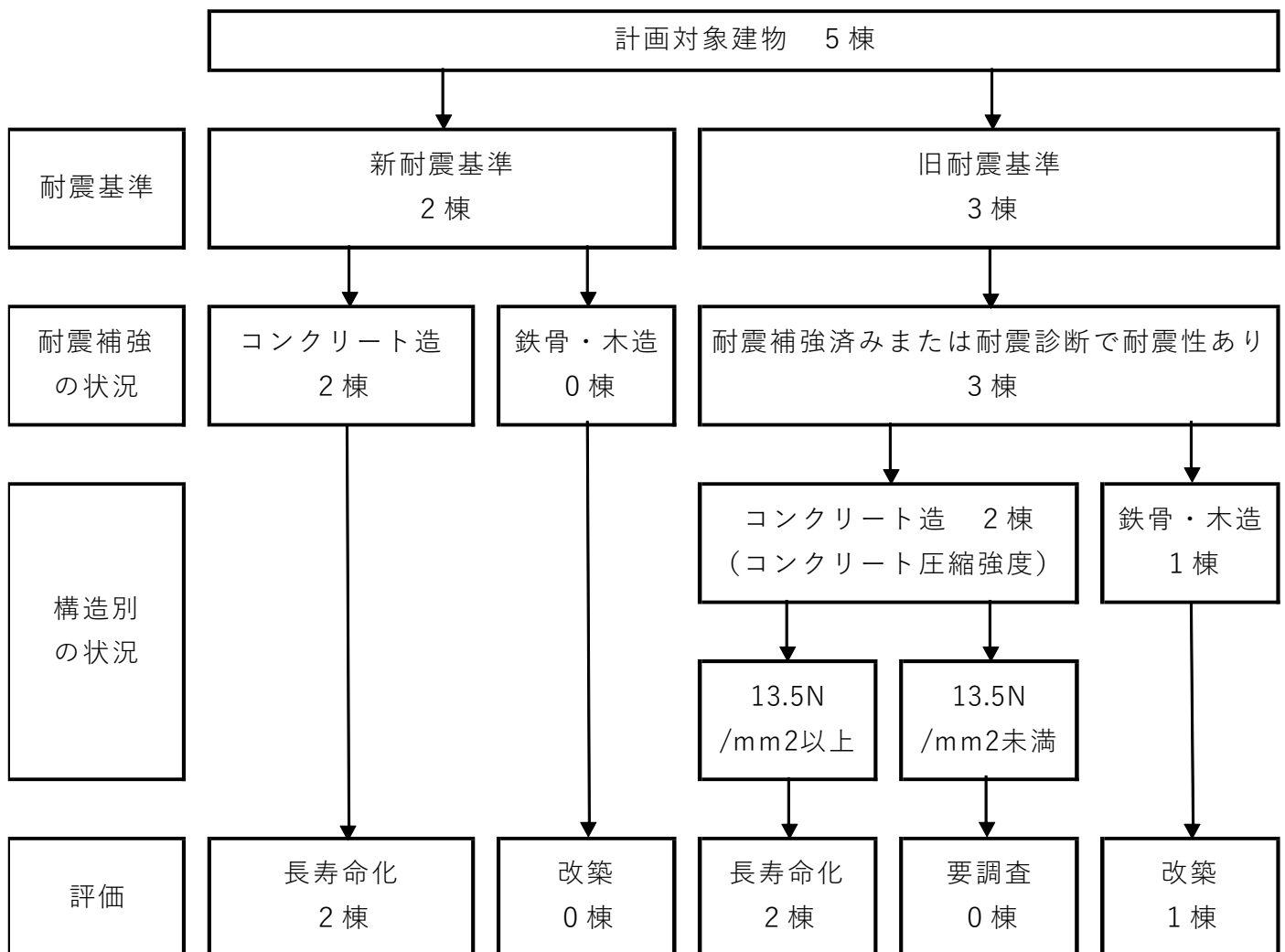
施設の築年別整備状況は、下記図表のとおりです。

本市の図書館施設は、建築後50年以上経過した建物が5.6%、建築後40～49年経過が43%、30～39年経過が22%で、30年以上経過した建物が全体の70.6%を占めている状況です。全ての施設において大規模改修の実績がなく老朽化は進んでおり、外壁の劣化による落下の危険や屋上防水の劣化による雨漏り、内装や建具の痛みによる機能面のマイナス要因等が今後、施設環境及び施設管理に支障をきたすことのないよう、改修等を計画的に実施していく必要があります。



◇老朽化状況の把握

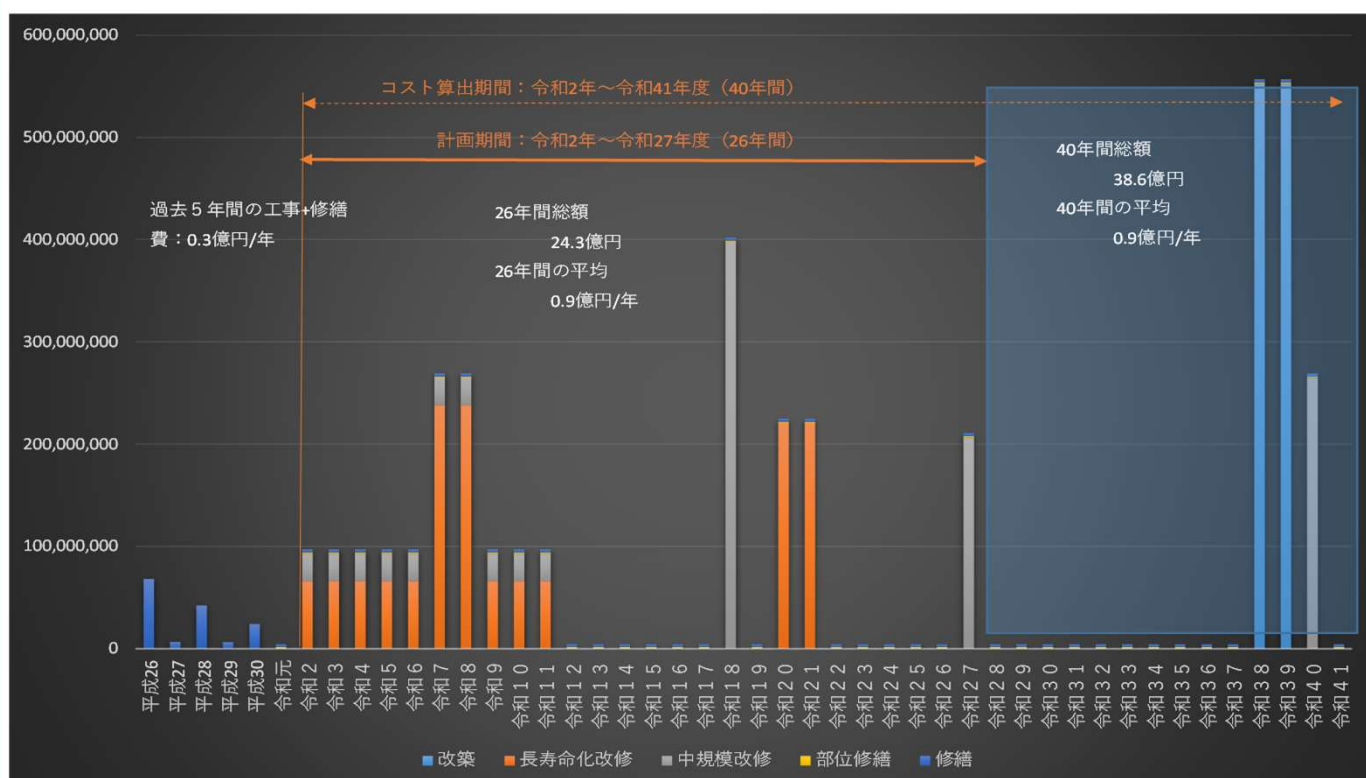
構造躯体の健全性の評価フロー



○積算基準

	改築		長寿命化改修		中規模改修	
	周期	単価	周期	単価	周期	単価
長寿命化施設	80年	400,000円/㎡	40年	240,000円/㎡	20年 60年	144,000円/㎡
それ以外の施設	過去5年間（平成26年～30年度）に要した工事費+修繕費の平均額を毎年計上					
積算基準	- 改築、大規模改修にかかるコストは2年で均等に分割して計上 - 中規模改修にかかるコストは1年で計上 - 令和2年度（2020年度）時点で、改築・長寿命化改修・大規模改修の周期年数を経過している建物は、令和2年度（2020年度）以降10年以内に該当する工事を実施するとして、コストの10分の1の額を10年間計上。 - 修繕にかかる費用は過去5年間（平成26年～30年度）に要した修繕費。					

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



従来型改修を行った場合、計画期間26年間で約29.5億円（年平均1.1億円）、40年間で総額約40.3億円（年平均1億円）の経費を要します。また、長寿命化を行った場合、計画期間26年間で約24.3億円（年平均0.9億円）、40年間で総額約38.6億円（年平均0.9億円）の経費を要します。「従来型」と「長寿命化」を比較すると、「長寿命化」のシミュレーション結果では、中規模改修等を行いながら図書館施設の更新コストの抑制を行うことにより、従来型と比較して26年間で5.2億円の費用削減を行い、40年間で比較しても1.7億円の削減が見込めます。

本計画の進行管理にあたっては、個別の実施計画や事業費を精査していくために、事業の進捗状況、12条点検をはじめ10年に一度の劣化状況調査等の実施によって劣化状況を把握し、これらの情報や評価結果に基づき、より優先されるべき劣化を把握した上で緊急性の度合いにより、効果的な整備メニューの検討や実施計画の見直しを検討しながら本計画を維持推進していくこととします。

さらに、具体的な取組を実施する際には、議会に適宜報告するとともに、利用者をはじめ、市民に対して説明会やアンケート調査、意見交換会等を実施するなど、市民の意見を反映しながら事業化を進めていきます。

伊勢崎市図書館課所管施設個別施設計画
令和２年２月策定

本計画策定課
教育部図書館課

電話：０２７０－２３－２３４６